

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：野田 勝

事業名	空港・港湾等アクセス道路 主要地方道防府環状線 牟礼工区	事業区分	地方道	事業主体	山口県
起終点	自：山口県防府市牟礼 至：山口県防府市牟礼			延長	0.6 km
事業概要	<p>主要地方道防府環状線は、防府市街地の外環を形成する主要幹線道路であり、重要港湾三田尻中関港や臨海部の工業地域へのアクセス道路として重要な役割を担っている。</p> <p>現在、旧国道2号より北側0.9kmの区間において、街路事業による道路整備が完了しているところであるが、更に北側の国道2号に至るまでの区間については、歩道が未整備で幅員狭小の市道しかないことから、歩行者や自転車利用者が危険にさらされている。また、幅員狭小の市道に通過交通が流入することにより、交通渋滞が発生している。</p> <p>このため、当該区間の整備を行うことにより、地域住民の安全で円滑な交通の確保、防府市街地における交通渋滞の緩和、高速インターチェンジや重要港湾三田尻中関港へのアクセス性の向上を図ることを目的としている。</p>				
H26年度事業化	H22年度都市計画決定	H27年度用地着手	H30年度工事着手		
全体事業費	約15億円	事業進捗率	19%	供用済延長	0 km
計画交通量	6,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 12/12億円 事業費：12/12億円 維持管理費：0.3/0.3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 23/23億円 走行時間短縮便益：19/19億円 走行費用減少便益：4/4億円 交通事故減少便益：0.2/0.2億円	基準年	平成25年
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.7~2.0(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.7~2.0(交通量±10%) 事業費：B/C=1.7~2.1(事業費±10%) 事業費：B/C=1.7~2.1(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.8~1.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.8~1.9(事業期間±20%)</p>				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・国道2号と重要港湾三田尻中関港等とのアクセス性を高めることで、物流コストの低減、産業力の強化が期待できる。 ・大規模災害時には、三田尻中関港（耐震護岸岸壁）が緊急物資の輸送基地となることから、本路線が県央部への緊急物資の輸送路として利用可能となる。 ・歩道の設置により、歩行者や自転車利用者の安全性が確保できる。 				
関係する地方公共団体等の意見	<p>地元自治体である防府市から道路整備の要望が寄せられており、事業の推進にあたっては協力体制が整っている。</p> <p>本路線のうち、旧国道2号より北側の国道2号に至るまでの区間については、街路事業による整備区間を含めて、関係者を対象とした事業説明会を実施しており、事業の必要性について概ね理解を得られている。</p>				
事業評価監視委員会の意見	—				
事業採択時より、再評価実施時までの周辺環境変化等	・街路事業で整備している旧国道2号より北側0.9kmの区間が平成30年度に供用開始				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>用地取得率：約50%、事業進捗率：約19%</p> <p>盛土工、橋梁工の進捗を図り、早期完成を目指す。</p>				

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残る用地取得を継続するとともに、早期開通を目指し、改良工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

・今後も工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案し、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。